

アカゲラ通信

2017年4月号
(公財)札幌市公園緑化協会 旭山記念公園管理事務所



「レストハウス」4月22日(土)オープン

「レストハウス」は4月22日(土)10時オープンとなります。営業時間は10時~17時です。

コーヒー、ソフトクリーム、軽食などを用意して皆様のご利用をお待ちしております。

「森の家」は金、土、日、祝日10時~16時開館となります。合わせてよろしくお願ひします。

春はホオジロ

旭山記念公園に春の本格的な訪れを告げる鳥、ホオジロが今月号の主役です。

●展望台から春を告げる鳥

ホオジロはホオジロ科、道内でも雪の少ない地域では越冬しますが、旭山では夏鳥、毎年3月下旬から4月の早い頃に南から渡って来ます。

今年は3月28日に初認、展望台周辺でその年初めて姿を見たり声を聞くことが多く、まさに旭山に春を告げる鳥です。



●開けた場所にいる鳥

展望台で最初に見られるのにはわけがあります。

ホオジロは「森の鳥」ではなく「里山の鳥」で、森に囲まれた開けた場所で生活する鳥だからです。

旭山でも展望台の周り、駐車場付近と森の家の周り以外ではほとんど見ることがありません。

旭山を歩く時は、ホオジロがどこにいてどこにいないかに着目するのも面白いです。

●頬は白いか?

ホオジロは頬が白いのがその名の由来ですが、その割には頬の白い部分が狭く、むしろ黒い部分が広いように思います。

同じ科のホオアカ(旭山では未確認)はまさにほっぺが赤いのとは大違いですが、でも他にその意味以上に「ほおじろ」という音の響きにどことなく親しみを持ちやすいように感じませんか?

●何て鳴いているの!?

野鳥の鳴き声(主に囁き)を人間の言葉にあてはめて表現することを「聞きなし」といいますが、ホオジロは身近な鳥だけあって「聞きなし」にも幾つかあります。例を3つほど挙げると

① 一筆啓上仕り候 ② 源平ツツジ枯れツツジ ③ 札幌ラーメン味噌ラーメン

①は昔から図鑑でも紹介され、②とともにアラフィフの編集者が小学生の頃から使われていましたが、③はここ20年くらいで言われるようになって感じていて、鳥の鳴き声にも時代性があるのかもしれません。

●ミラーにアタック!

春先の駐車場で車のミラーにアタックするホオジロを見かけます。

右写真は雌の個体ですが、自分の縄張りを守るためにライバルに攻撃を仕掛けて追い払っているものと考えられています。



●秋に幼鳥

毎年8月下旬になると幼鳥が「ミュンヘンの森」下のススキなどで見られます。

ホオジロは観察しやすくもっとも身近な野鳥のひとつです。ぜひ注目してみてください。

野鳥観察会が今年から名称が変わります

毎年多くの方に参加していただいている野鳥観察会、今年から以下のように変わります。

★「早朝野鳥観察会」 朝6時半まで開始のものを「早朝」野鳥観察会として5、6月に3回予定しています。

★「旭山野鳥観察会」 朝8時開始のものを「旭山」野鳥観察会とします。早朝に行う5、6月を除き毎月第2土曜日8時開始ですが、4月から6月にはさらに数回を予定しています。

◎次回「旭山野鳥観察会」は4月29日(土・祝)8時、「早朝野鳥観察会」は5月7日(日)6時15分開始です。

各参加費100円(保険代)、定員:15名(先着順)、電話または「森の家」でお申し込みの上ご参加ください。

※春の野鳥観察会は参加者が多いため早めのご予約を。定員締め切りの場合は予めご容赦ください。

「フラワーソン 2017」に参加しませんか？

5年に一度全道一斉に行われる「フラワーソン」

今年がその年、6月17日(土)、18日(日)に行います。

(フタリシズカ→)

「フラワーソン」は参加者(団体)が各自選んだ場所に咲く花を調べるもので、

旭山でも「森の家」を拠点に旭山記念公園と札幌市旭山都市環境林を調べます。

「フラワーソン」に旭山で参加しませんか？

当方スタッフとともにグループを組んで調査範囲内をくまなく歩いて調べますが、

より多くの方にご参加いただければより広く歩いて調査の確度も上がります。

調査は簡単、分からぬ花は写真を送れば事務局の人が教えてくれます。

参加された皆様にはもれなく記念品が贈られます(5年前は右下写真の花びんでした)。

参加ご希望の方は隨時「森の家」までご連絡ください。グループでの参加も大丈夫です。

なお、保険等の関係で参加される方はお名前を登録させていただきます、予めご了承ください。

花と親しくなるよい機会、ご参加お待ちしております！



2017年3月の旭山野鳥情報

バードウォッチングの季節が本格化する4月、情報を少し厚めにまとめました。

【夏鳥】●ホオジロ:3/28 初認(表参照)。 ●キジバト:3/27 初認。「ボボーホーホーツ」木の上で鳴く。

●カワラヒワ:今年は越冬せず3月中旬から見られるようになりました。木の上で「ジューンチリー」と囁く。

●イカル:夏鳥ですが3月上旬に確認。かつて旭山で越冬したことがありそれも冬残っていた個体の可能性。

●キセキレイ、モズ、ヤマシギ:例年では4月上旬初認。後二者は元々数が少なく目撃例も少なめの鳥です。

鳩ほどの大きさのヤマシギは笹の中から急に飛び立ってびっくりさせられることがよくあります。

◇4月中旬初認予想:アオジ、ウグイス、ヤブサメ、トラツグミ、ルリビタキ

◇4月下旬初認予想:メジロ、クロツグミ、センダイムシクイ、コマドリ

※キビタキ、オオルリ、コルリ、アオバトなどは5月に入ってから。

【冬鳥】●ツグミ:4月下旬まで。●ウソ、マヒワ、アトリ:5月上旬まで。

●シメ:旭山では夏は稀、4月下旬まで見られます。

●イスカ:冬の間は情報ゼロでしたが4月から5月上旬に移動途中の通過個体の群れが1日か2日見られる可能性があります。

【旅鳥】●ミヤマホオジロ:3/28 初認。4月中旬までまだ現れる可能性。

◇4月中～下旬初認予想:シロハラ、マミチャジナイ、カシラダカ

シロハラは地面で採餌し人が近づくと飛び上がって木にとまります。

【その他】●シマエナガ:ペアで営巣に入り見られる頻度が落ちました。

●キクイタダキ:4月中旬まで針葉樹で見られます。

●シジュウカラ:「ツーピーツーピー」囁き今がピークです。

●ハシブトガラ:「ピィピィピィ」囁きまだ聞かれます。

●ヤマガラ:「チーリーツー」ワルツの囁りだいぶ少くなりました。

●ヒガラ:「ツピツツーツピツー」針葉樹のてっぺんでよく囁りしています。

●ヤマゲラ:「ピヨッピヨッピヨッピヨッ」と大きな声がよく聞かれます。

●クマゲラ:この春は旭山での目撃は多くないですが、山から声はよく聞こえています。



(写真 ↑ヤマシギ ↓ヤマゲラ雌)



編集後記

旭山記念公園に今年も桜の季節がやって来ます。

(2016年5月2日撮影→)

桜の開花予想日、日本気象協会発表5/1、ウェザーマップ社発表は4/28と、

両者に3日の違いがあるのは、データ解析の方法が違うのでしょう。

いずれにせよ4月は桜と夏鳥にわくわくしながら過ごす時期ですね。



公式サイト

「アカゲラ通信」 第41号 2017(平成29)年4月2日発行

発行:(公財) 札幌市公園緑化協会 旭山記念公園管理事務所

住所:〒064-0943 北海道札幌市中央区界川4丁目

連絡先:電話 011-200-0311(土・日・祝日10時~16時) FAX 011-200-0351

<http://www.sapporo-park.or.jp/asahiyama/>